

議事録

審議会等名	平成28年度 第1回ふるさと創生事業推進委員会
開催日	平成28年11月16日
開催場所	伊奈庁舎 3階 会議室
出席者	<p>〔出席委員〕 高木委員，中島委員，宮島委員，高橋委員，齊藤（登）委員，齊藤（繁）委員，秋田委員，小菅委員，野村委員，浅野委員，石神委員，木村委員</p> <p>〔欠席委員〕 中山委員</p> <p>〔事務局〕 みらいまちづくり課 松本課長，荒井補佐，藤倉主査，飯山主事</p> <p>〔担当課〕 都市計画課 海老原課長 市民サポート課 染谷課長，大澤主査 産業経済課 谷口課長，島田係長 政策秘書課 豊嶋課長，堀越主幹 社会福祉課 倉持係長</p>
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度 事業の進捗状況について ・ふるさと創生基金の新たな活用事業について
議案概要	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 午前10時00分 松本課長 ・委員委嘱状交付 ・市長あいさつ ・会長あいさつ ・諮問書伝達 ・議事 <p>(1) 平成28年度 事業の進捗状況について</p> <p>【議事の趣旨】</p> <p>ふるさと創生事業と位置づけた平成28年度事業について事務局から報告（【資料1】【資料2】参照）</p> <p>(市等が行う事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡堰桜の植え替え <p>28年度は11月中に契約予定であり，約20本の植え替えを行う予定です。また，28年度から5年間で100本の植え替えを予定であります。予算，基金活用見込額共に3,000,000円です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称) みらいの森プロジェクト <p>樹木や石に彫る文言については協議中であり，金額については三社見積中です。事業は28年度完了予定であります。</p> <p>予算，基金活用見込額共に1,400,000円です。</p>

・市制10周年記念事業

① 公用車にイメージキャラクター

業者と協議中であり、事業は28年度完了予定です。

予算、基金活用見込額共に98,000円です。

② 庁内案内看板にキャラデザイン

業者と協議中であり、事業は28年度完了予定です。

予算、基金活用見込額共に13,000円です。

③ 市税口座振替キャンペーン

キャンペーン通知用スタンプを作成し、周知しました。

市税等の新規または追加で口座振替を申込みした方と既存の利用者に抽選でみらいプレミアム詰め合わせを贈呈する予定です。

予算額372,000円、基金活用見込額367,496円です。

④ 10周年記念ウェディングボード

市のイメージキャラクターを配したウェディングボードを作成し、11月22日(いい夫婦の日)に両庁舎に撮影コーナーとして設置する予定です。

予算額、基金活用見込額共に224,000円です。

⑤ ご当地ナンバー

市のイメージキャラクターをプリントした原動機付き自転車のナンバーを作成し、交付するものです。

予算額914,000円、基金活用見込額345,600円です。

⑥ 動画コンテスト『みらい夢動画』～未来へ伝える120秒～

映像講座、動画コンテストを実施予定です。動画コンテストは、市の魅力を市内外に広めることを目的にH29年2月5日(日)に、きらくやま すこやか福祉館にて開催予定です。

予算額、基金活用見込額共に、1,241,000円です。

⑦ 図書館まつり

例年実施している「図書館まつり」を冠事業として開催し、特別講師として、直木賞作家の山本一力氏を招いて記念講演会を実施しました。

予算額600,000円 基金活用見込額500,000円です。

⑧ 10周年記念タイムカプセル“みらい”への手紙

事業名を「みらいゆうびん」に変更しました。「未来への手紙として、10年後の自分・あなた・市などへ、現在の記録・記憶とともに未来への想いや希望などを託した手紙を募集し、その募集した手紙を「ダンボール製の等身大みらいりんぞう」に保存し、展示するものです。そして、市制20周年記念の年に開封する予定です。

予算額327,000円、基金活用見込額295,000円です。

・小貝川水辺事業「サイクリングロードの充実」

小貝川サイクリングロードに自転車スタンドの設置，休憩所の設置等，ふるさと創生基金を活用して，サイクリングロードの充実を図るものです。現在，国土交通省や関係自治体等と協議・調整し，具体的な計画を作成中であります。29年度につきましては，28年度作成した計画に基づいて事業を進行します。具体的には，サイクリングロードの谷原大橋か来場者の多い福岡堰さくら公園付近に案内看板の設置を予定しています。

予算額，基金活用見込額共に 1,500,000 円です。

・小貝川水辺事業「屋形船の運航」

実現させるための問題点を整理し，維持管理費なども含め，実現可能な方法を担当課で模索したところ，一案として，Eボートの導入を検討しています。

【担当課より説明】

【資料5】を基に説明。

・きらくやま桜のライトアップ機器整備事業

きらくやま桜のライトアップ機材の購入を予定しており，現在，指定管理者の社会福祉協議会と調整中です。事業は28年度完了予定です。

予算額，基金活用見込額共に 1,000,000 円です。

・古民家松本邸母屋葺替え事業

27年度から29年度までの3年間で茅葺き替えを実施します。28年度までで，全体の3分の2が終了しており，29年度については，5月に屋根東側の葺き替え工事を実施予定です。

28年度予算額 5,086,000 円 基金活用見込額 5,077,188 円です。

29年度予算額，総事業費共に 6,000,000 円です。

(市民等が行う事業)

・ふれあいコミュニティ事業

住民主体による地域づくりやコミュニティ醸成を推進するための事業で他の補助金(助成金)を受けていない団体に対して，1事業につき10万円を限度として助成するもので，27年度から，茨城南青年会議所が開催する市民交流イベントの一部費用に助成しており，28年度は10月23日(日)に実施された

「みらいハロウィン 2016～江戸の街を仮装で埋め尽くせ!～」の一部費用に助成しています。

予算額 1,000,000 円（10 団体）です。
基金活用見込額 100,000 円（1 団体）です。

【質疑・回答】

委員質問 屋形船の代替案として説明された E ボートについて、下妻市で開催した大会の運営組織、組織形態を具体的に教えてほしい。

担当課回答 下妻市と観光協会及び市民団体に連携し、運営しています。

委員質問 E ボートを導入する目的を明確に示してほしい。

担当課回答 「小貝川の水辺に親しむこと」「福岡堰さくら祭りに合わせて講習会を実施することで、観光客アップ、地元で愛着を持ってもらうこと」「水害時の緊急対策としても活用できること」が挙げられます。

委員質問 屋形船について、維持管理費がかかることが問題の一つとして挙げられていたが、それは E ボートでも同じことが言えるのではないか。

担当課回答 初期費用は高額だが、メンテナンスについては、小額で済むので、トータルの費用については、屋形船と比較すると安値に抑えられます。

委員質問 図書館まつりについて、講師料 500,000 円は高い気がするが妥当なものなのか。講師料の割には参加人数が少ない。もっと周知して、広い会場にすればかなりの集客が見込めたのではないか。もったいないと思う。イベント実施の際にアンケート調査は行わなかったのか。

担当課回答 講師料は直木賞作家の方をお願いしており妥当であると考えます。今後は周知を徹底して行い、場所もより人が入りやすいところを検討したいと思います。アンケート調査については、持ち合わせてないので、後ほど報告させていただきます。

委員質問 【資料 2】10 周年記念事業について、全体の進捗状況に加えて、事業を行ったことによる反応を知りたい。

- ① 市税口座振替キャンペーンについては、どのくらいの納税者が新規で口座振替申請をしたのか
- ② 動画コンテストはどの程度の反響があったのか。
- ③ みらいゆうびんの反響はどうか。

	<p>木村総務部長 ①市税口座振替キャンペーンについて、今年初めて実施した取り組みです。銀行からも歓迎の声があり、納税者の方々もこの事業のために口座申込をしたかどうかは不明だが、反響としては悪くありません。</p> <p>また、この事業の波及効果で、来年度からは市役所でも口座振替の申込みができるように検討しているところでもあります。</p> <p>委員質問 口座振替ができる金融機関をもっと幅広くしてほしい。</p> <p>木村総務部長 今年度、収納課・会計課と各金融機関に交渉しに伺ったが、労働信用金庫のみしか了承を得られませんでした。</p> <p>委員質問 市外の納税者が多いので、市外の金融機関での対応が必要になってくると思う。</p> <p>担当課回答 ②動画コンテストについては、現在、応募者はございません。</p> <p>担当課回答 ③みらいゆうびんについては、11月にポストを設置し、セレモニーを実施しました。小中学校にも協力を得て、実施し、両庁舎にも設置してあります。「住所」「氏名」「切手」を頂き、市制20周年の年に届ける予定です。</p> <p>委員質問 子供達だけではなく、ウェディングにも絡めて行ってはどうだろうか。</p> <p>担当課回答 ポストの投函期限が12月2日となっていますが、検討してみます。</p> <p>委員質問 ふれあいコミュニティ事業について、今年度、活用団体が1団体のみということだが、市民への周知はきちんとされているのか。できるだけ多くの団体に利用してもらい、満額活用してほしいと思う。</p> <p>担当課回答 ふれあいコミュニティ事業は平成26年度より開始した事業で26年度は0件、27・28年度は各1件でした。</p> <p>28年度は10月23日に実施した「みらいハロウィン2016」の一部費用に使用され、来場者7,000人と反響が大きいものとなっております。周知方法としては、市のホームページ、国の助成金のホームページや行政協力員会議でチラシの配布を行ったりしている。問合せは1件ありましたが、「既存の事業を拡大したもの」という条件に合致しなかった為、対象外となりました。</p>
--	--

た。来年度は1ヶ月早く周知を開始したいと思います。

(2) ふるさと創生基金の新たな活用事業について

【資料3】を基に担当課から説明。

【質疑・回答】

委員質問 具体的に何をやるのか、よくわからない。動画コンテストと三世代助成金事業だけなのか。

担当課回答 シティプロモーション事業とは、動画コンテストや三世代助成金事業の他にも、シティプロモーションPR支援業務委託、研修、移住イベントの参加や広告作成等、市の売り込み、PR全てを含めたものを言います。現在、シティセールスプランの方向性を見極めて策定中でそれが事業費の大きなウエイトを占めている状態です。

委員質問 三世代同居・近居住宅支援事業について、事業費が2,000万もある。来年度は申請者が増える期待はあると思うが、事業費がなくなるまで、先着順に交付するというのはいかがなものだろうか。公平性を保つ為に、抽選にはできないだろうか。また、生活保護受給者は対象外にして、高額所得者を対象とするのは公平性に欠けると思う。所得制限を設けても良いのでは。28年4月1日以降に転入しないと対象にならないというのもどうなのだろうか。ふるさと創生事業推進委員会が開始された年度まで遡及適用はできないのだろうか。

担当課回答 要綱が28年4月1日に定められ、平成28年度開始の事業です。事業を行うためには、どうしても基準日が必要になりますので、遡及対応は出来かねます。助成金の支給を先着順としたことにつきましては、申請書の内容の精査に時間を要する為です。例えば、1月～3月の申請も考えられ、その場合、年度を跨る可能性もあることから先着順とさせていただきました。抽選、先着順の検討に当たっては、他市の状況等も参考にしています。続いて、所得制限につきましては、あくまで、当事業の目的が移住・定住の促進ですので、高額所得者に限定した制限は設けておりません。

委員要望 税金なので、公平性が必要だと思う。高所得者については、対象から外し、普通の世帯の方々を対象にした方がふるさと創生基金の趣旨に合っていると思う。あくまで要望だが。

	<p>委員要望 もっと、ふるさと創生基金を活用した事業を PR してほしい。また、各々の事業がふるさと創生基金を活用したうえで行っているということを周知してほしい。例えば</p> <p>① ふるさと創生基金を活用した事業の内容のパンフレットを作成し、年1回配布する。</p> <p>② 市の PR をするツール（間宮林蔵記念館、きらくやまふれあいの丘、福岡堰さくら公園等）にイメージキャラクターを使用した統一の案内看板の作成（どこまで作成するかは不明だが）を検討してほしい。</p> <p>【議事結果】</p> <p>シティプロモーション事業に対して、ふるさと創生基金を活用することを認める。</p> <p>答申については、会長に一任することで委員了承済み。</p> <p>・閉会 午前11時40分 松本課長</p>
そ の 他	傍聴人 1人